



2017年10月13日

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン、NTTドコモの決済サービス 「d ケータイ払いプラス®」に対応

- 2017年10月13日(金)より対応開始
- 航空券や受託手荷物料金などの支払いが、NTTドコモの電話料金合算払いでも可能に
- NTTドコモのdポイントを獲得・使用することも可能
- スマートフォン1つで予約から決済までできる手軽な空の旅の選択肢がさらに拡大

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優、以下、ジェットスター・ジャパン)は、本日13日(金)より、航空券などの決済手段として、NTTドコモのdポイントがたまる・使える決済サービス「d ケータイ払いプラス」に対応します。

今回の「d ケータイ払いプラス」への対応により、NTTドコモの回線をお持ちの方は、ジェットスター・ジャパンが運航する国内外全路線の航空券に加え、受託手荷物や座席指定料金などの予約・支払いを月々の通信料金と合算して支払うこと(キャリア決済)が可能になります。また、航空券などの支払いで、NTTドコモのdポイントがたまるだけでなく、たまったdポイントを航空券などの支払いに使用することもできます。

クレジットカードを持っていないお客様をはじめ、より多くのお客様が安心して簡単にジェットスター・ジャパンを利用して空の旅を楽しむことができるようになり、スマートフォンひとつで航空券の予約から購入、そして空港でのチェックインまで済ませるといふ、ジェットスターが提案する「スマホひとつで、空の旅」がさらに広がります。

ジェットスター・ジャパンでは、2016年9月1日より日本の航空会社として初めてキャリア決済に対応しています。今回の「d ケータイ払いプラス」の導入は、KDDIが提供する決済サービス「auかんたん決済」に続く2社目のキャリア決済対応となります。

ジェットスター・ジャパンは、今後もより多くのお客様が、安心・安全かつ低運賃での空の旅を楽しんでいただけるよう、お客様のニーズに応える利便性高いサービスを導入してまいります。

特記事項

※ご購入金額が総額1,500円以上かつ10万円以下で、スマートフォンもしくはジェットスターアプリから、新規の予約・購入である場合に限り、ご利用いただけます(規定の支払手数料がかかります)。

■ご参考

「d ケータイ払いプラス」支払い画面(例)



【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より東京(成田)、大阪(関西)、札幌(新千歳)、福岡、沖縄(那覇)に就航し日本国内線の運航を開始しました。その後、名古屋(中部)、大分、鹿児島、松山、高松、熊本へと国内の就航地を広げたのち、2015年2月の香港線の開設を皮切りに同年11月の台北線、2016年3月のマニラ線、2017年6月の上海線と国際路線網を拡充しています。また、2017年12月に成田と宮崎を結ぶ初の定期運航便を就航します。現在、国内最大のLCC(※)として国内16路線、国際9路線を21機のエアバスA320型機(180人)で1日約100便を運航しており、就航から5年で2,100万人以上のお客様にご利用いただいています。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<http://www.jetstar.com>

※国内路線数、国内運航便数(2017年10月現在)

【d ケータイ払いプラスについて】

お支払い額に応じて、d ポイントがたまる・使えるお得で便利なサービスです。お支払い方法は、月々の電話料金合算払いの他、クレジットカードでのお支払いも可能です。NTTドコモの回線をお持ちでない方もdアカウントをお持ちであればご利用いただけます。詳しくはこちら(https://service.smt.docomo.ne.jp/keitai_payment/)

「d ケータイ払いプラス」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。